

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公開番号】特開2005-251707(P2005-251707A)

【公開日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-036

【出願番号】特願2004-93718(P2004-93718)

【国際特許分類】

H 01 R 35/04 (2006.01)

H 01 R 24/02 (2006.01)

【F I】

H 01 R 35/04 B

H 01 R 17/04 501 G

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月14日(2005.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

硬性を有するコンタクト部を有するコネクタ部が相互に回動可能に連結されていて、かつ、前記コンタクト間が接続媒体を通じて電気的に接続されている同軸ケーブル用コネクタであって、

前記各コネクタ部の連結部分を通る接続媒体を、軟性を有するリード線としている同軸ケーブル用コネクタ。

【請求項2】

前記リード線は、前記コネクタ部を相互に回動させた場合であっても撓んでいる長さとされている請求項1記載の同軸ケーブル用コネクタ。

【請求項3】

前記リード線は、前記連結部分で螺旋状に収容されていて、当該連結部分を通るリード線の中心軸を、前記コネクタ部の回動軸上としている請求項1又は2記載の同軸ケーブル用コネクタ。

【請求項4】

前記請求項1から3のいずれか1項に記載の同軸ケーブル用コネクタが取り付けられていることを特徴とする同軸ケーブル。